

## オログンデ サ元 神 者、インド (3/4)

:

明:「物事は、その によって明 にされる (アラブの )」。第3部: 原罪についての思考は、 へと

目: [事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: オログンデ サ

日 1 Jan 2013

集日 21 Jan 2013



インドには多くの寺院があり、そこで人々が虚 を崇 していることは明らかでした。多くの神々を するヒンズ 教は、私にとって一度も理解の出来るものではありませんでした。私は、彼らがどうやって神々や女神の外 を知ることが出来たのか不思議 でした。そして米国でも、その状 に大差がないことに 付きました。唯一の相 点とは、すべての路地や街角にあるのは寺院ではなく、教会だということです。米国において宣教されているキリスト教も、私は全く理解出来ませんでした。人々は、あたかもイエスを たことがあるかのように彼を き描いています。本物のイエスは、彼らが描いているものとは似ても似つかない人物であろうということは、容易に想像できることです。

私は夫に、キリスト教に する を浴びせました。彼はそれに答えることが出来ませんでした。私はまた、キリスト教徒の友人にも しました。彼らはそれらの一部に答えはしましたが、彼らの答えは めて不条理だったため、私は ねるのを めました。彼らが何と

言ったか知りたいですか？

正直言うと、私はそれを きたくてうずうずしている程です！

彼らが 言は、こういったものでした。「完全なる神の前には、いかなる や罪も持ちこたえることは出来ません。彼の完全性の前には、私たちにとって最も小さな不正でさえも、 ごされることはないのです。たった一つの罪の行 であってもです。アダムとイヴを てください。彼らの一つの行 は、とても小さなものでしたが、それによってこの世界に罪が入り んでしまったのです。二人はその行 の 果が死であることを知っていましたが、神はその 果から救 される方法があることを二人に 束したのです。 言者は、この 束についてを き したのです。その 束と こそが、バイブル全体に潜むテ マなのです。その教えとは、キリストを十字架にかけたユダヤ人指 者たちだけが 人だったのではなく、ダビデやロト、その他の者たちもそうだったということです。そこには私とあなたも含まれます。最もささやかな であれ、私たちの死に するのです。アダムとイヴが彼らの行いを取り消すことが出来なかったのと同 、 私たちも一度犯してしまった を取り消すことは出来ません。しかし、神がアダムとイヴに して 束したことは、私たちにも 用されます。神が私たちに求めることとは、その 束を受け入れることだけなのです。」

このような を信じることがなぜ出来ましょう？

しかし、私のキリスト教徒の友人たちは、正にこれを信じていたのです。彼らによると、神にとってはすべての とすべての罪は同じだということです。したがって、パンを一切れ盗んだ者と、10人 した 人犯に する は同じなのです。それは一体どのような正 なののでしょうか？

私は米国の法と秩序が、すべての犯罪に し一律に死刑で制裁しないことに感 します！  
ということは、地上における法が、神の法よりも れているということなののでしょうか？

そして、小さな罪が死に し、神が私たちの罪のために死んだということを知ることでだけによって救 されるというのは、何というとんでもないことでしょう。

それを信じようが信じまいが、私たちは死から救われることもないのです。

私たちが罪を犯すのは、アダムとイヴのせいではありません。それは、私たちの自由意志によるものです。私たちの行に任を持つのは、私たち自身です。私の犯す ちを、私以外の かが背 うことなどありません。そんなことは正 とは言えないのです。それゆえ、たとえ かが私のもとに来て、私の罪を身代わりになると言ってくれても、私はそれに合意しないでしょう。その罪を犯したのは私自身であるし、それのもたらす 果に直面しなければならないのも私自身なのです。私たちが意的に ちや罪、あらゆる犯罪を犯し、その重荷を完全に なかに押し付けるということは、 に道理のかなわないことです。この世界を 渡しても、トムが 人を犯し、トムの代わりにディックが 首刑にされるような法と秩序のシステムは存在しません。そのようなことが行われたなら、この世は 茶苦茶になってしまうでしょう！

私は へ行き、答えを探し始めました。そして の一神教であるイスラ ムについて学びだしました。クルア ンを むと、もうそれ以上探する必要はありませんでした。私の疑 はすべて、そこで答えられていたのです！

クルア ンの教えは、非常に明快です。

1. 神（アッラ）は唯一である。
2. かれは永 の存在であり、死ぬことはない。
3. かれは生むのでも、生まれたのでもない。
4. かれに似通うものはなにもない。
5. すべての魂は 判の日、所 を清算される。
6. 重荷を背 う者は、他者の重荷を背 うことはない。
7. イエスは神の使徒の一人である。

8. 真理を信じ、善行に励んだ者は、その として に入る。
9. 信仰せず、真理を拒 した者は、地 に投げ入れられる。
10. アッラ 以外に神はない。かれは全世界の主であり、 造主であり、全知全 の者である。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/1593>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。